

第31回歴史・文化探訪の会（報告）

去る11月9日(土)に実施した第31回探訪会「MRJ&あいち航空ミュージアム」についてご報告申し上げます。

定刻の9時15分、快晴の朝、あいち航空ミュージアム前に参加者15名が集合し探訪会を開始した。

2階に上がり、全員身分証明書を提示し受付手続き完了後しばらく待ち、専用バスに乗り、MRJミュージアムに向け出発した。

ミュージアム前で下車、入口で諸注意(写真撮影禁止等)の後、全員イヤホンを渡され、女性アテンダントの案内で館内を見学した。まずシアターに入りMRJの開発から初飛行までのストーリーがムービーで紹介された。

その後実物大の模型が置いてある場所へ移動し、機外の部品等の説明を受けながら機内にも入り搭乗体験した。機首にはフライトデッキとキャビンが設置されており、実際シートにも座ってMRJを体感した。

続いて実物大の翼とジェットエンジンのカットモデルの展示を見学した。主翼の先端を上へ折れ曲げているのは空気抵抗を減らし燃費を節約するためということであった。

少し移動し製造現場をタブレットの360°ムービーで見られる場所へ行き各自1台ずつ持って見学した。また風洞実験に使用したモックアップの展示やMRJに使用されている本物のパーツ類も見学した。また、MRJに使用されている100万点にのぼる部品やその材料の運搬・加工の過程、物流の仕組みの説明を受けた。また三菱重工グループの事業領域や社会貢献についての説明も受けた。

最期に5階に上がり、広い工場全体を見渡し、周囲を一周し、MRJの胴体や組み立て部品の置かれている様子を見学した。元の入口に戻り記念写真撮影をして約1時間半の見学を終了した。

再び専用バスに乗り愛知航空ミュージアムに戻った。そこから昼食会場の県営名古屋空港のつばさ亭まで10分ほど歩き、1時間ほど昼食休憩と懇親の時間を設けた。

昼食後、徒歩で再び愛知航空ミュージアムへ戻り、館内を自由見学した。往年のYS11や零戦、警察庁の大型ヘリコプター、高校生の自作機などの展示が見られた。丁度自衛隊の催し物もあり、ブルーインパルス編隊による飛行も見学できた。午後3時頃探訪会を終了し、各自家路に就いた。

